

1 ヒアリング調査結果（利用客、交通事業者、運転手等）

（1）調査概要

①目的

利用客や交通事業者、運転手等に対しヒアリングを実施し、公共交通の利用実態、要望や意見等を把握することで、公共交通への課題や潜在的なニーズを抽出する。

②調査日数

平成 29 年 8 月 23 日～8月 29 日

③調査を実施した路線：4 路線

定時定路線で運行する乗合タクシー、コミュニティバス

山崎線、泊野線、金山線、段・薬師線

④ヒアリング項目

利用客

・利用目的 ・買い物に行く際の交通手段 ・公共交通に対する要望 等

交通事業者、運転手

・利用実態 ・各路線のニーズ ・各路線の実態 等

第V章 公共交通のニーズ調査

(2) ヒアリング結果

路線名	ヒアリング対象者	自由意見
山崎線	バス利用者	月に1度、墓参りのため利用している。15分で着くのに1時間以上乗る場合がある。
		病院に行くためによく利用している。(木原, 海江田, 医師会など)
		もう少し早く着けば良い。
		病院の送迎バスがあるが、乗らないようしている。交通手段のない私たちにとって、公共交通がなくなれば大変困る。
		JA本所に行くために利用した。よく利用している。
		車内で会話が弾み、コミュニケーションの場にもなっている。知らない人でも知り合いになれる。
		医師会病院はコミュニティバスを利用していることを知っているの、時間に合わせた診察をする。
		大長入口のバス停を少し移動(10mほど)して、たけのご集出荷施設前にしてほしい。
	山崎・伊勢ヶ原バス停から折り返し、荒瀬橋を過ぎずに左へ走り山崎川内線へ出て荒瀬バス停前を通過するコースに変更できないだろうか。	
	乗務員(ドライバー)	月・金の利用が多い。
第3便・第4便はほとんど乗る人はいない。燃料代等を考えて、検討した方が良い。		
病院が送迎をするようになって、利用者が減少した。		
利用者はほとんど決まっている。この場所で何人、ここで何人等、分かっている。		
泊野線	バス利用者	第4便の時間をもっと早くしてほしい。以前は12時30分だったので帰宅してから昼食がとれたが、今はタクシーで帰っている。以前のように区間ごとに料金設定してほしい。
		免許返納の際に頂いた地域公共交通無料券つづりは、無くなればまたもらえるのだろうか。
		病院へ行くバスは、今後もあり続けてほしい。
	乗務員(ドライバー)	運行の時間帯は悪くない。
		どのバス停も利用はあるが、利用回数が1人当たり月1~2回と少ない。
		年金受給直後は、買い物での利用が増える。
		高齢者が施設に入るようになり、利用者が減少している。
		第2便は回送で問題ない。
		(8時台に病院は終わらない、中心部の店も開いてないので泊野方面へ乗車する人はいない)
		第4便出発時間をもっと早くても良い。以前の12時30分頃発は利用者が多かった。(買物後帰宅して昼食がとれる時間帯だったため)
金山線	バス利用者	熊田ストアの送迎バスを利用している。(数名で乗り合わせている。)
		自宅が永野交流館に近いので、普段の買い物は「Yショップ」を利用することが多い。
		JA薩摩支所や生協に行く際に利用するが、生協(coop)の宅配も利用している。
		宮之城へ行く際は、さつまクリニックからタクシーを利用する。(路線・空港バスは乗降が大変)
	乗務員(ドライバー)	クリニックの帰りの時間とコミュニティバスの時間帯が合わない時は、クリニックが送ってくれる。
		利用者のほとんどが高齢者で、病院受診(2週間に1回程度)を目的にしている。
段・薬師線	バス利用者	最近では病院が独自に患者の送迎を行うようになり、利用者が減少した。
		病院以外の利用はほとんどなく、稀に観音滝公園への温泉利用者がいる程度である。
		宮之城方面へ買い物に行きたいという要望がある。
		平田公民館付近から観音滝温泉へ行く利用者がいるが、1週間おきの水曜日と決まっている。
		病院へ行くために、たまに利用している。
	車の無い人にとっては必要な交通手段であるが、空バスが目立っている。	
乗務員(ドライバー)	空港バスに乗り換えて宮之城へ行くのだが、運行時刻がわからない。	
	宮之城までの直行便(午前1便、午後1便)があればいいと思う。	
	目的地まで夫の姉が時々送迎してくれるが、あまり頼むことができないのでバスを利用している。	
	クッキーも電話をしたら宅配してくれるが、自分1人だけだと頼みにくい。	
	だいたい乗車する人は決まっている。	
	第4便は乗る人はいない。	

施設名	意見
医療施設	後期高齢者が多いので、バスが病院内に乗り入れてくれたらありがたい。
宿泊施設	バスを利用しないのでわからない。
商店	バスの便数を増やして欲しい。バスは大きいので「ハイエース」がいいのではないか。買い物・病院に特化したバスの運行でいいのではないか。
物産館	バスの利用者はいない。

第V章 公共交通のニーズ調査

2 公民会長に対するアンケート調査結果

(1) 調査概要

①目的

公民会長に対しアンケートを実施し、公民会の住民の移動ニーズやバスの利用実態、バスに対する要望や意見等を把握することで、バスへの課題や潜在的なニーズを抽出、整理する。

②対象者数

さつま町の公民会長：133 公民会

(宮之城地区：73 公民会、鶴田地区：33 公民会、薩摩地区：27 公民会)

③調査方法

公民会長への直接配布・回収

④調査日数

平成 29 年 8 月～10 月

⑤回収率

回収数：110 件（回収率：82.7%）

(宮之城地区：62 件 鶴田地区：27 件 薩摩地区：21 件)

さつま町	公民会数	回収数	回収率(%)	※参考 会員数
宮之城地区	73	62	84.9	8,609
鶴田地区	33	27	81.8	2,182
薩摩地区	27	21	77.8	1,783
合 計	133	110	82.7	12,574

⑥調査項目

- ・公共交通（コミュニティバス・乗合タクシー）の運行状況把握
- ・買い物について（利用施設・移動手段）
- ・通院について（通院施設・移動手段）
- ・公共交通（コミュニティバス・乗合タクシー）の評価 等

第V章 公共交通のニーズ調査

(2) アンケート結果：宮之城地区

回答数：62 公民会（配布：73 公民会、回収率：84.9%）

<参考>

会員数：**8,609**名（全73 公民館）

うち「自分で車を運転ができない方」**2,039**名（23.7%）

■公共交通(コミュニティバス・乗合タクシー)について

○さつま町内の公共交通として

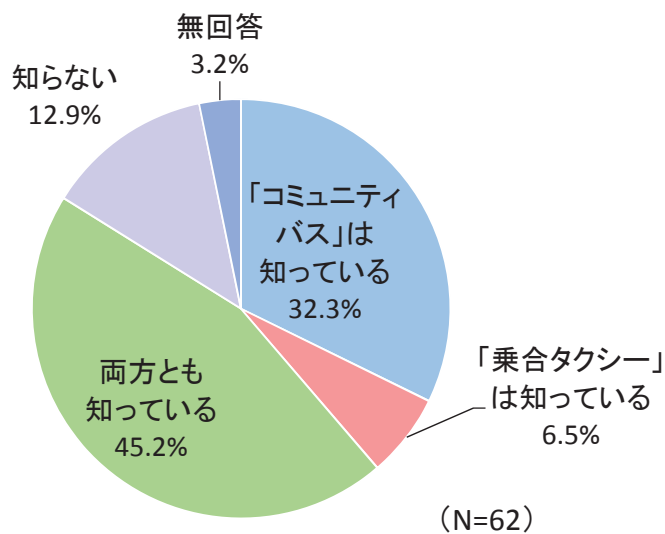
●コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）

4 路線：泊野線、山崎線、金山線、段・薬師線

●電話で予約する乗合タクシー ※**デマンド運行**

6 路線：神子線、鶴田線、上狩宿・熊田線、湯田・佐志線、登尾線、柗野・紫尾線

が、運行していることを知っているかに対して「両方とも知っている」が45.2%と最も多くなっており、「コミュニティバスは知っている」が32.3%、「乗合タクシーは知っている」が6.5%となっている。また、「知らない」は12.9%となっている。

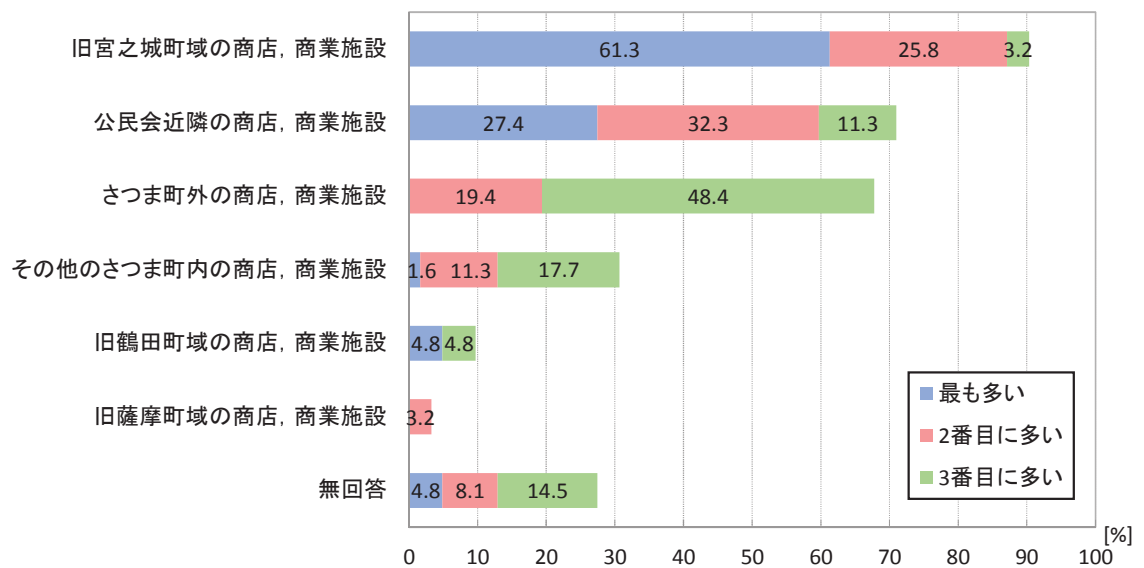


第V章 公共交通のニーズ調査

■買い物に関すること

○買い物する場所

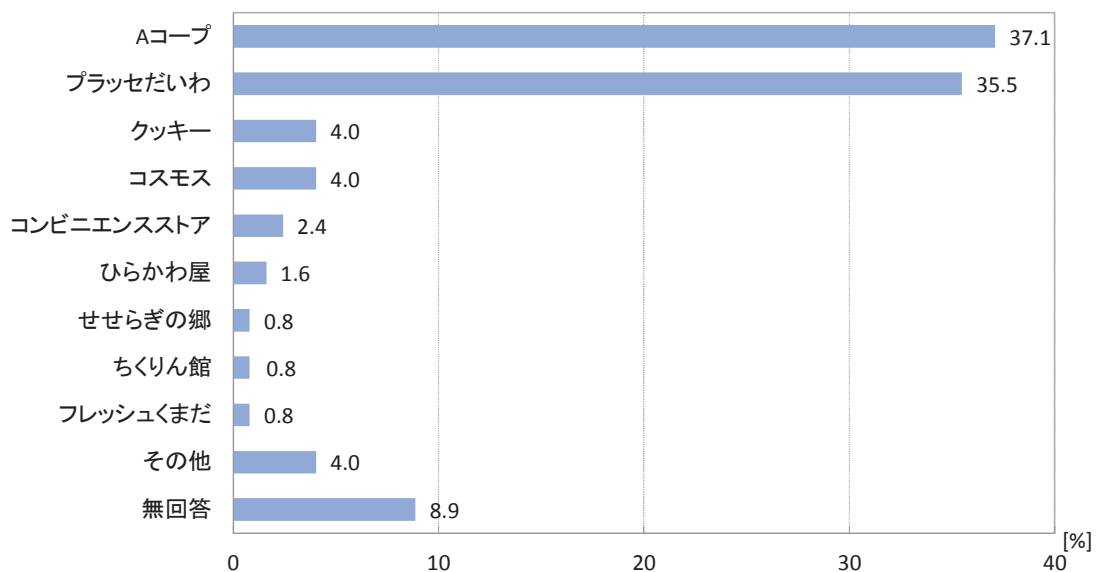
買い物に利用する商店、商業施設の場所は、「旧宮之城町域の商店、商業施設」が「最も多い」が61.3%、「2番目に多い」が25.8%、「3番目に多い」が3.2%と多くなっている。次いで「公民会近隣の商店、商業施設」は「最も多い」が27.4%、「2番目に多い」32.3%、「3番目に多い」が11.3%と多くなっている。



○利用している商業施設

(N=62)

買い物に利用する商店、商業施設は、「A コープ」が最も多く 37.1%、次いで「プラッセだいわ」が35.5%と多くなっている。



(N=62)

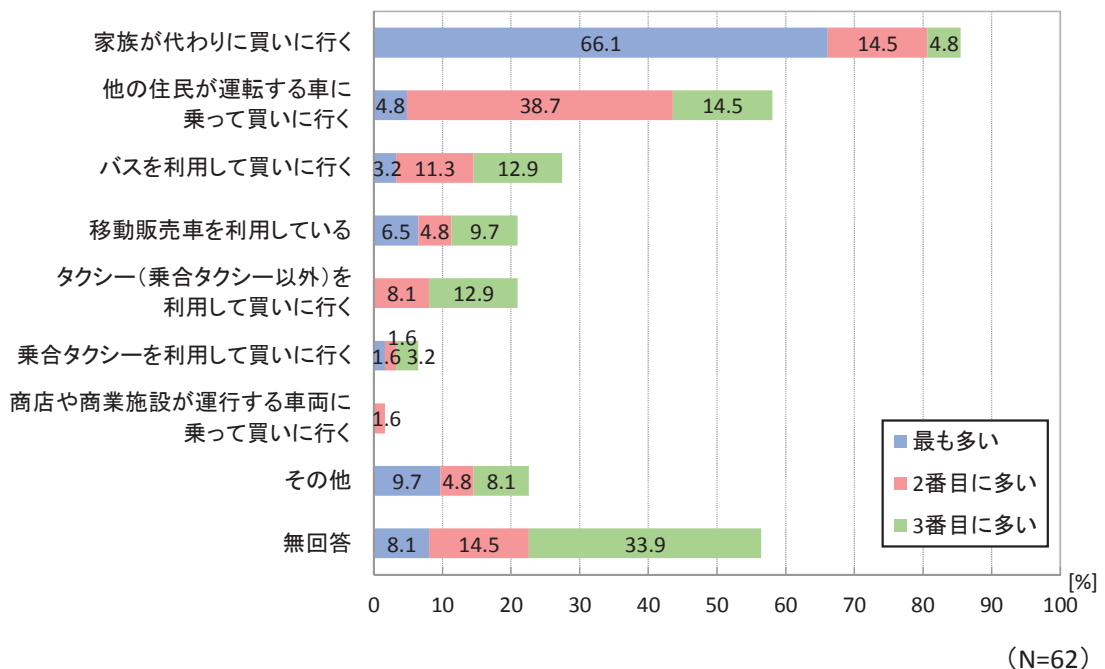
第V章 公共交通のニーズ調査

○（車を自分で運転できない方々の）買い物際の移動手段

車を自分で運転できない方々の買い物際の移動手段は、「家族が代わりに買いに行く」が「最も多い」が66.1%、「2番目に多い」が14.5%、「3番目に多い」が4.8%と多くなっている。

次いで「他の住民が運転する車に乗って買いに行く」が「最も多い」が4.8%、「2番目に多い」が38.7%、「3番目に多い」が14.5%と多くなっている。

また、「バスを利用して買いに行く」は全回答で27.4%、「乗合タクシーを利用して買いに行く」は、全回答で6.4%に留まっている。



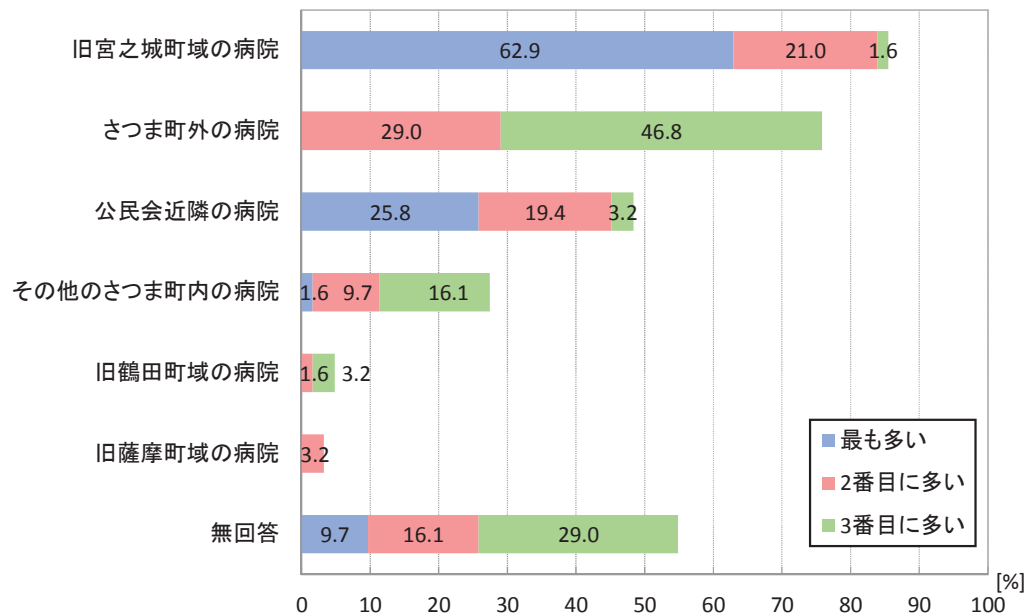
第V章 公共交通のニーズ調査

■通院に関すること

○通院する場所

通院する場所は、「旧宮之城町域の病院」が「最も多い」が62.9%、「2番目に多い」が21.0%、「3番目に多い」が1.6%と多くなっている。次いで「さつま町外の病院」が「2番目に多い」が29.0%、「3番目に多い」が46.8%と多くなっている。

また「公民会近隣の病院」は、「最も多い」が25.8%、「2番目に多い」が19.4%、「3番目に多い」が3.2%となっている。

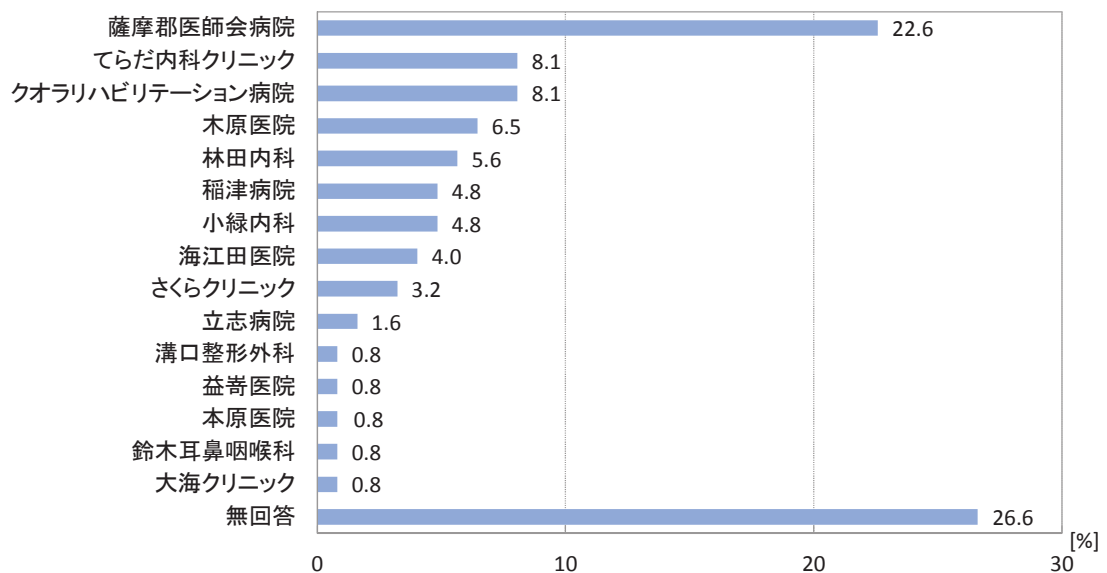


○通院している医療施設

(N=62)

通院している医療施設は、「薩摩郡医師会病院」が最も多く22.6%となっている。

次いで「てらだ内科クリニック」、「クオラリハビリテーション病院」がともに8.1%と多くなっている。



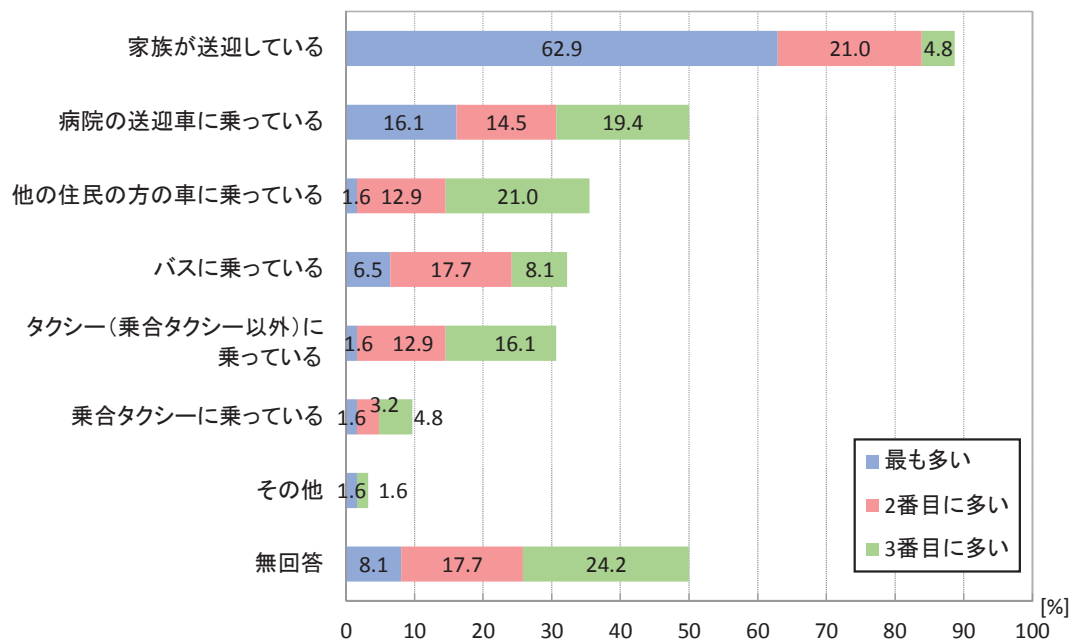
(N=62)

第V章 公共交通のニーズ調査

○（車を自分で運転できない方々の）通院の際の移動手段

車を自分で運転できない方々の通院の際の移動手段は、「家族が送迎している」が「最も多い」が62.9%、「2番目に多い」が21.0%、「3番目に多い」が4.8%と多くなっている。

また、「バスに乗っている」は全回答で32.3%、「乗合タクシーに乗っている」は、全回答で9.6%に留まっている。



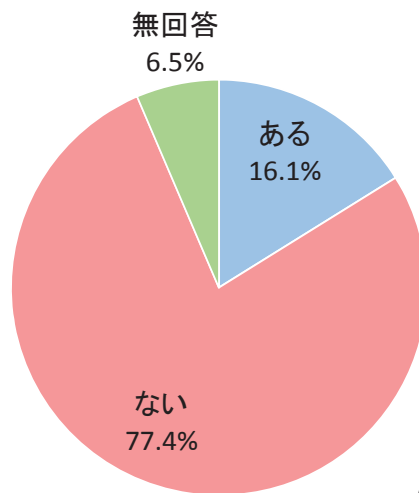
(N=62)

第V章 公共交通のニーズ調査

■コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する評価

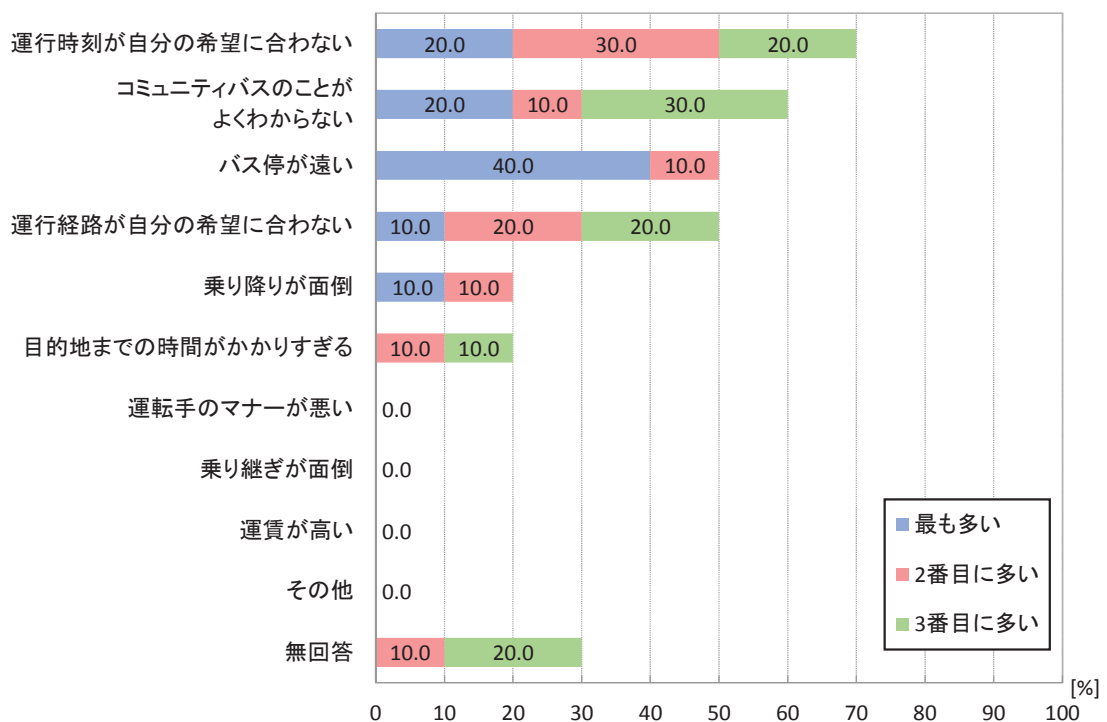
○コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する不満

コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する不満を耳にすることが「ある」が16.1%、「ない」が77.4%となっている。



○「コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）」に対する不満の理由

「コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）」に対する不満を耳にすることが「ある」とした回答者の理由として「運行時刻が自分の希望に合わない」が「最も多い」が20.0%、「2番目に多い」が30.0%、「3番目に多い」が20.0%と多くなっている。その他に「コミュニティバスのことがよくわからない」、「バス停が遠い」、「運行経路が自分の希望に合わない」が多くなっている。

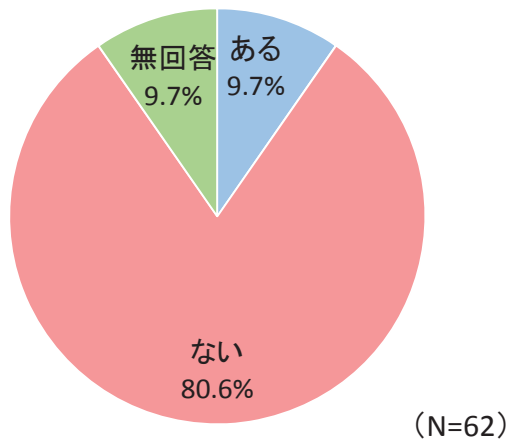


第V章 公共交通のニーズ調査

■乗合タクシー（デマンド運行）に対する評価

○乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満

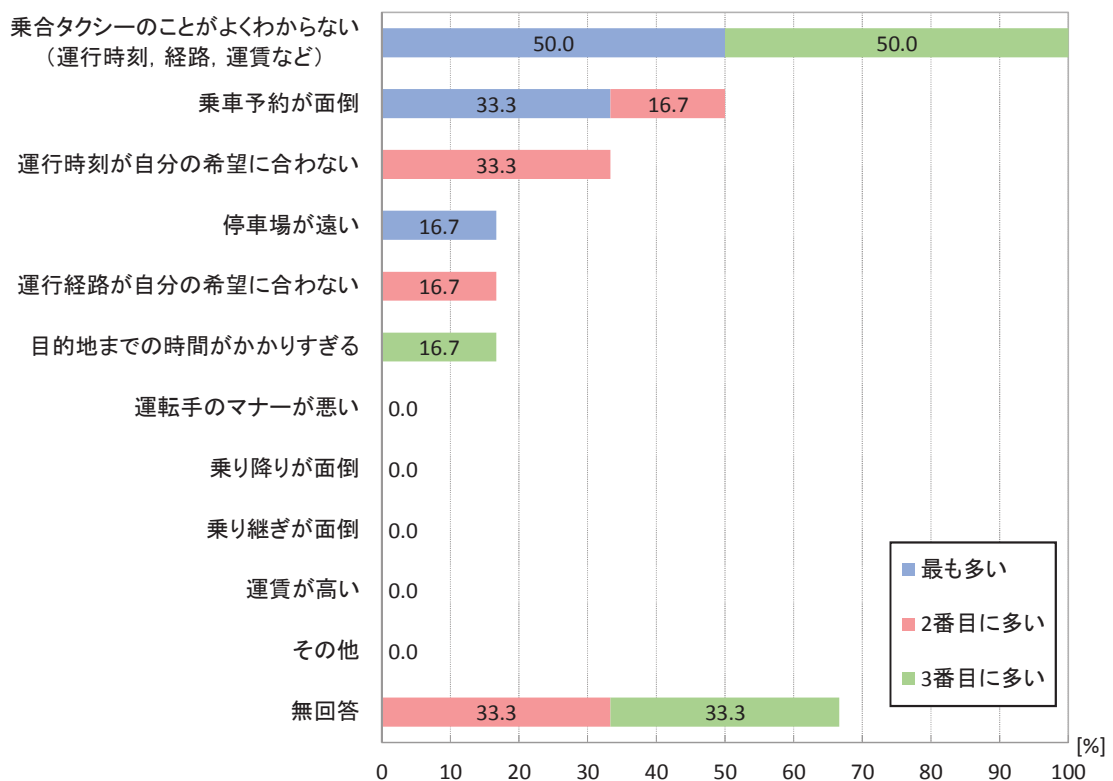
乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満を耳にすることが「ある」が9.7%、「ない」が80.6%となっている。



○乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満の理由

乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満を耳にすることが「ある」とした回答者の理由として「乗合タクシーのこと（運行時刻、経路、運賃など）がよくわからない」が「最も多い」が50.0%、「3番目に多い」が50.0%と多くなっている。

その他に「乗車予約が面倒」、「運行時刻が自分の希望に合わない」が多くなっている。



(N=6)

第V章 公共交通のニーズ調査

■意見・要望

- ・ 船木東地域でコミュニティバス・乗合タクシーを利用する人を見かけない。もう少し制度等の説明が必要ではないか。(市街地周辺のため利用者は少ない。)
- ・ 乗合タクシー・コミュニティバス共に周知不足だと思う。未だに存在すら知らない人が多すぎる。
- ・ 通院の時は自家用車を利用するようにしている。緊急時を除き、同居者の休日を考慮して送迎や通院を考えている。
- ・ 病院へ行く人は、送迎車のある病院がいいと思っている。なぜなら家まで迎えに来てもらえ、済めば家まで送ってくれる。バスや乗合タクシーは待ち時間がある。
- ・ 地域的に乗合タクシーやコミュニティバスが通らず、利用もない。他地域と比べ、多少は便利なところもあるのだろうが、移動販売車等は来ないと耳にする。今後、どうなるのか心配な面もある。
- ・ 明確な路線バス及び運行経路、時間帯を知らない。乗合タクシー等の電話番号もわからない。
- ・ 当公民会は、バス停が近く、近くにAコープやコンビニもあり、今のところ不便は感じていないと思う。
- ・ 北原は入来との境にあり、そのあたりの住民は、山崎の一番近い商業施設であるAコープで3.3kmある。その帰路は、地区に入るふるさと道路の坂道が1.5km続いている。病院も一番近いクオラまで、5kmある。町の中心にある役場やダイワまでは約8kmあり「ちょっと歩いて行って来る」という距離ではない。車に乗らない方や車に乗れなくなった方は、気軽に自分が乗りたいときに乗って、行きたいところへ直接止まってくれるコミュニティバスが誠にありがたい。また、利用者は「(運転手の人が)親切でよくしてくれる」と言う。利用者が少ないとなかなか難しいと思うが、利用する方が気兼ねなく、楽しく、バスが存続できるように願うばかりである。
- ・ 二渡町は路線バスが多い。
- ・ 現在高齢になり、利用する人を見うけない。

第V章 公共交通のニーズ調査

(3) アンケート結果：鶴田地区

回答数：27 公民会（配布：33 公民会、回収率：81.8%）

<参考>

会員数：**2,182**名（全 33 公民館）

うち「自分で車を運転ができない方」**518**名（23.7%）

■公共交通(コミュニティバス・乗合タクシー)について

○さつま町内の公共交通として

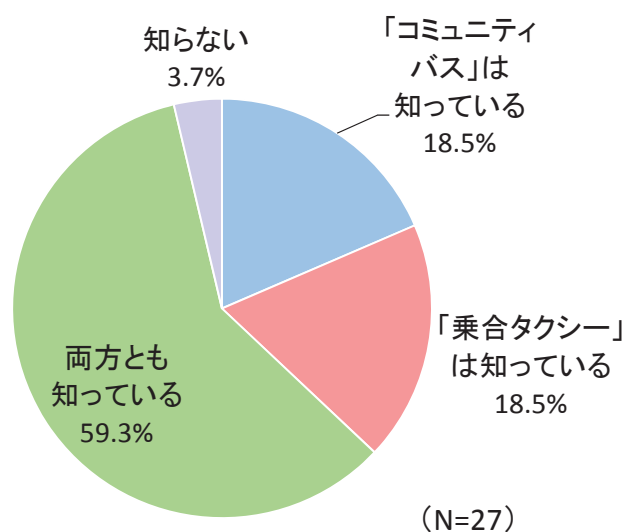
●コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）

4 路線：泊野線、山崎線、金山線、段・薬師線

●電話で予約する乗合タクシー ※**デマンド運行**

6 路線：神子線、鶴田線、上狩宿・熊田線、湯田・佐志線、登尾線、柗野・紫尾線

が、運行していることを知っているかに対し、「両方とも知っている」が 59.3%と最も多く、「コミュニティバスは知っている」、「乗合タクシーは知っている」がともに 18.5%となっている。また、「知らない」が 3.7%となっている。

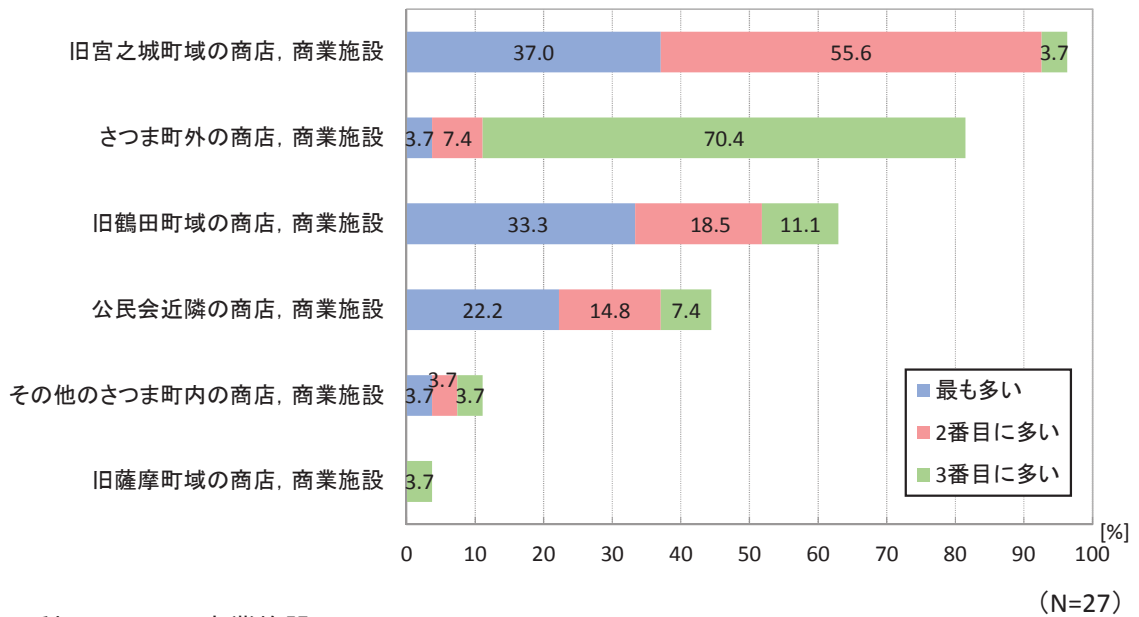


第V章 公共交通のニーズ調査

■買い物に関すること

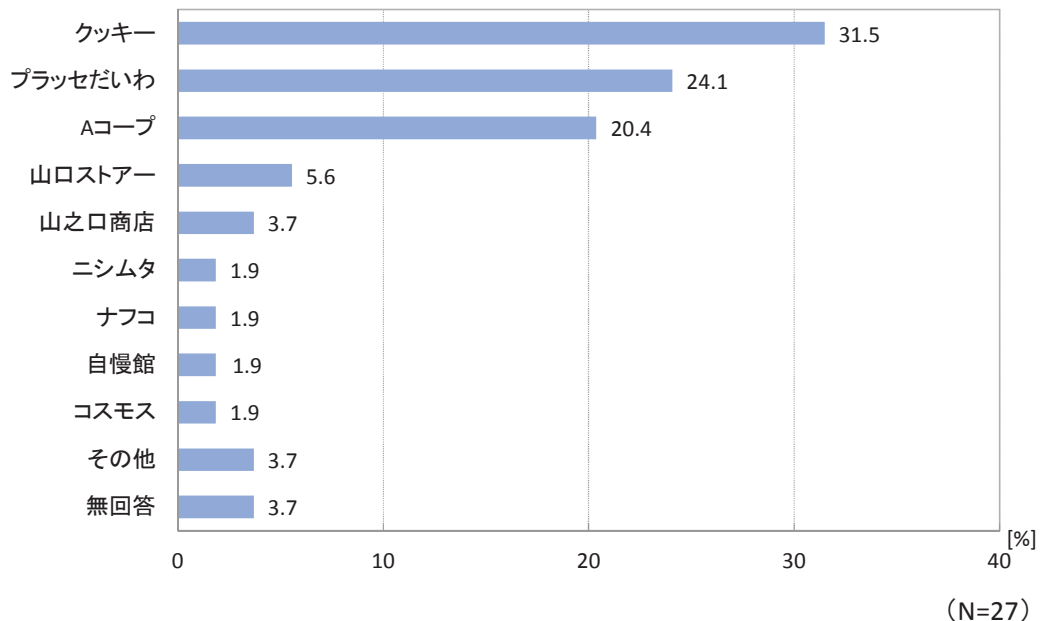
○買い物する場所

買い物に利用する商店、商業施設の場所は、「旧宮之城町域の商店、商業施設」が「最も多い」が37.0%、「2番目に多い」が55.6%と、「3番目に多い」が3.7%と多くなっている。また、「旧鶴田町域の商店、商業施設」は「最も多い」が33.3%、「2番目に多い」が18.5%、「3番目に多い」が11.1%となっている。



○利用している商業施設

買い物に利用する商店、商業施設は、「クッキー」が最も多く31.5%となっている。次いで「プラッセだいわ」が24.1%、「Aコープ」が20.4%と多くなっている。



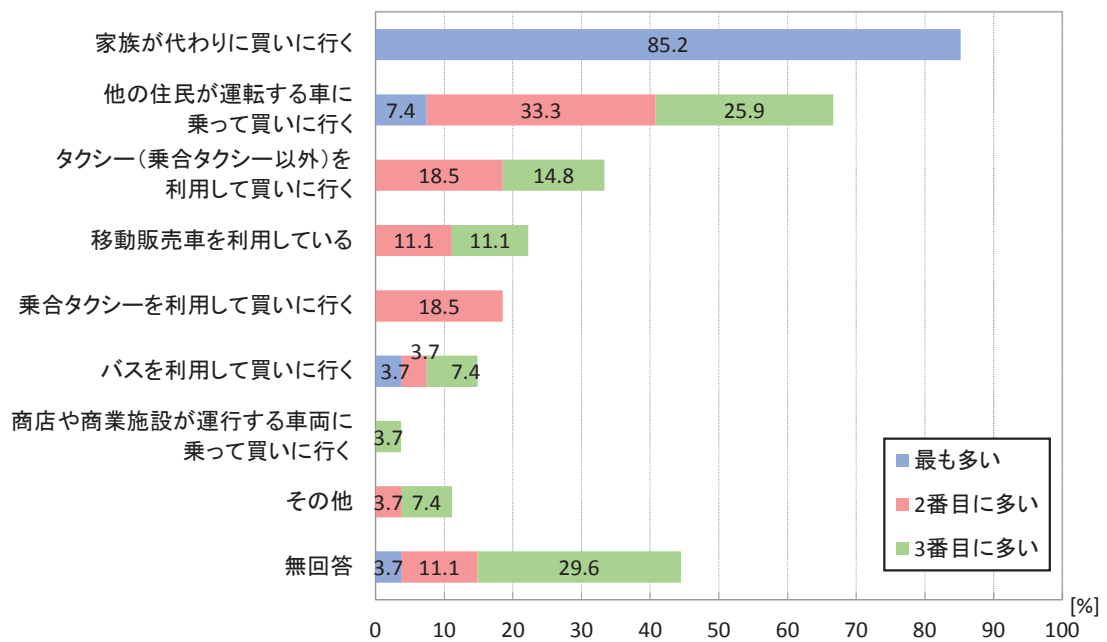
第V章 公共交通のニーズ調査

○（車を自分で運転できない方々の）買い物の際の移動手段

買い物の際に、車を自分で運転できない方々の移動手段は、「家族が代わりに買いに行く」が「最も多い」が85.2%と多くなっている。

次いで「他の住民が運転する車に乗って買いに行く」は、「最も多い」が7.4%、「2番目に多い」が33.3%、「3番目に多い」が25.9%と多くなっている。

また、「乗合タクシーを利用して買いに行く」は全回答で18.5%、「バスを利用して買いに行く」は、全回答で14.8%に留まっている。



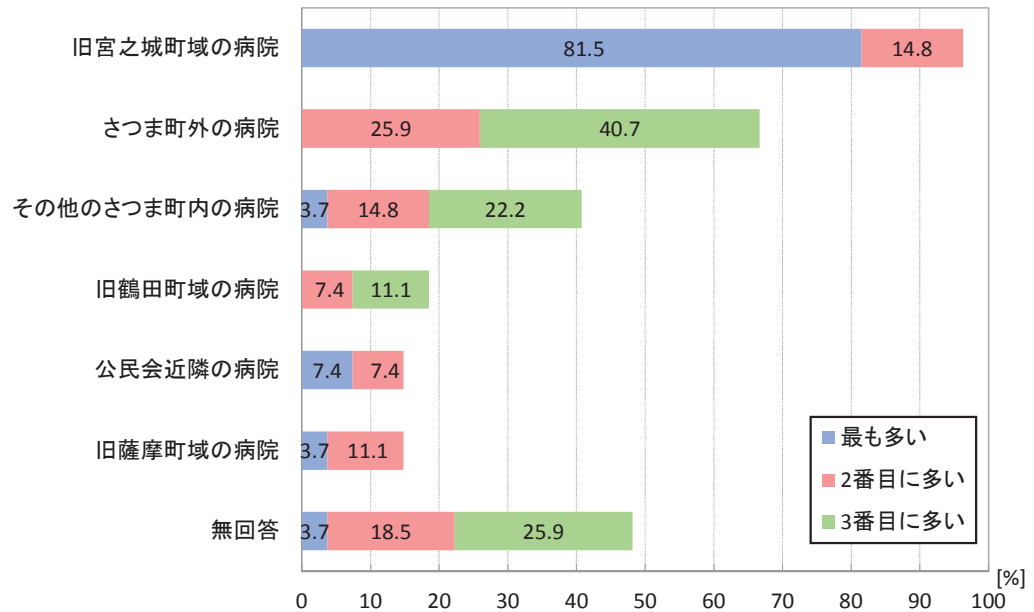
(N=27)

第V章 公共交通のニーズ調査

■通院に関すること

○通院する場所

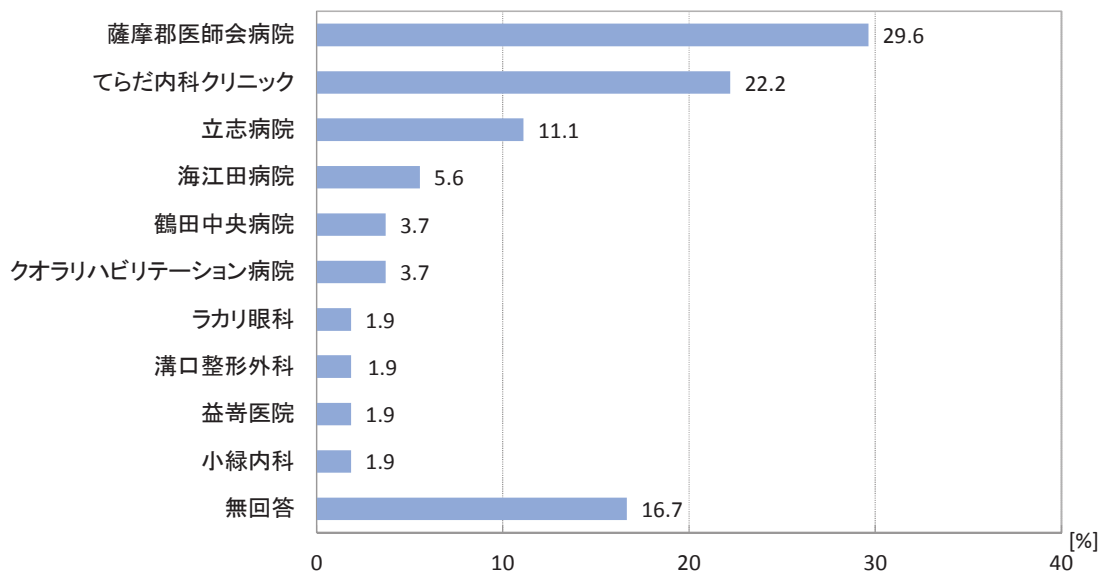
通院する場所については、「旧宮之城町域の病院」が「最も多い」が81.5%、「2番目に多い」が14.8%と多くなっている。また、「旧鶴田町域の病院」は、「2番目に多い」が7.4%、「3番目に多い」が11.1%となっている。



(N=27)

○通院している医療施設

通院している医療施設は、「薩摩郡医師会病院」が最も多く29.6%となっている。次いで「てらだ内科クリニック」が22.2%、「立志病院」が11.1%と多くなっている。



(N=27)

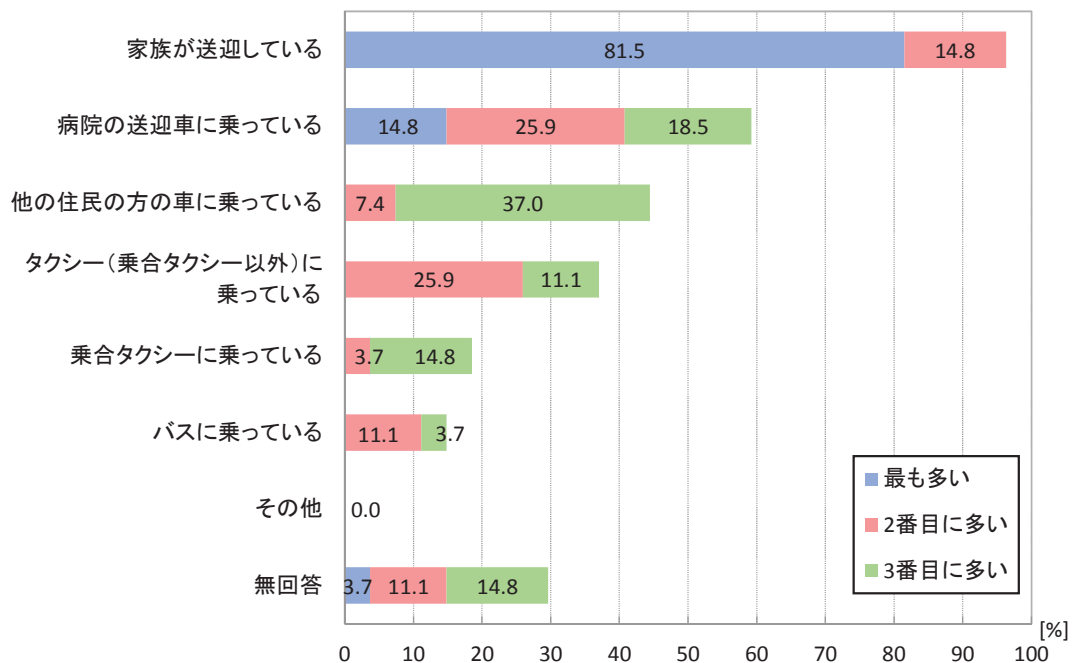
第V章 公共交通のニーズ調査

○（車を自分で運転できない方々の）通院の際の移動手段

車を自分で運転できない方々の通院の際の移動手段は、「家族が送迎している」が「最も多い」が81.5%、「2番目に多い」が14.8%と多くなっている。

次いで「病院の送迎車に乗っている」は、「最も多い」が14.8%、「2番目に多い」が25.9%、「3番目に多い」が18.5%と多くなっている。

また、「乗合タクシーに乗っている」は全回答で18.5%、「バスに乗っている」は、全回答で14.8%に留まっている。



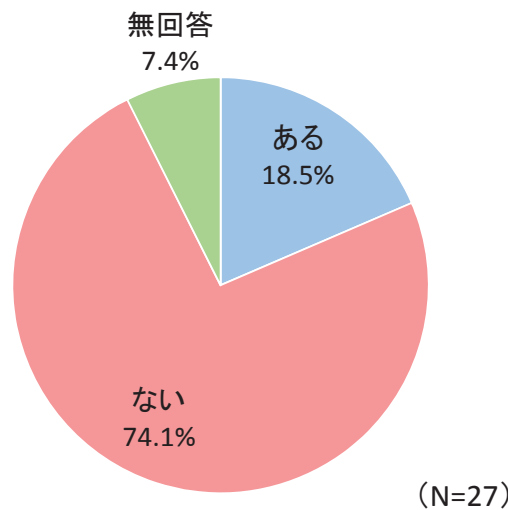
(N=27)

第V章 公共交通のニーズ調査

■コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する評価

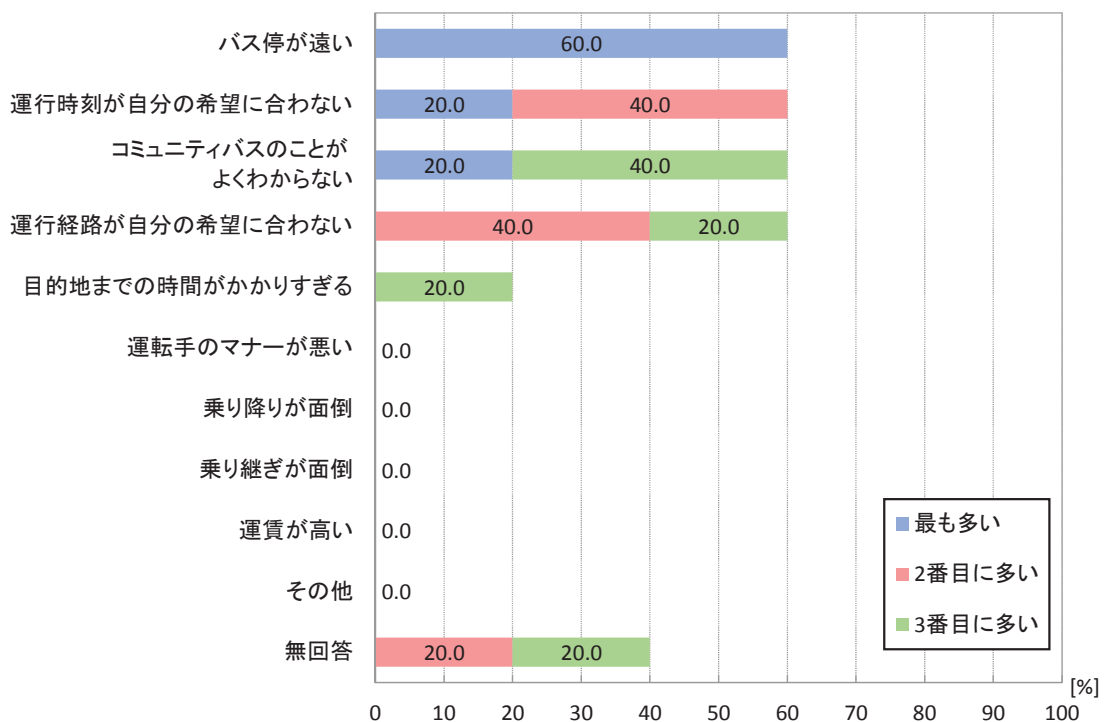
○コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する不満

コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する不満を耳にすることが「ある」が18.5%、「ない」が74.1%となっている。



○「コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）」に対する不満の理由

「コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）」に対する不満を耳にすることが「ある」とした回答者の理由として「バス停が遠い」が「最も多い」が60.0%と多くなっている。その他に「運行時刻が自分の希望に合わない」、「コミュニティバスのことがよくわからない」、「運行経路が自分の希望に合わない」が多くなっている。

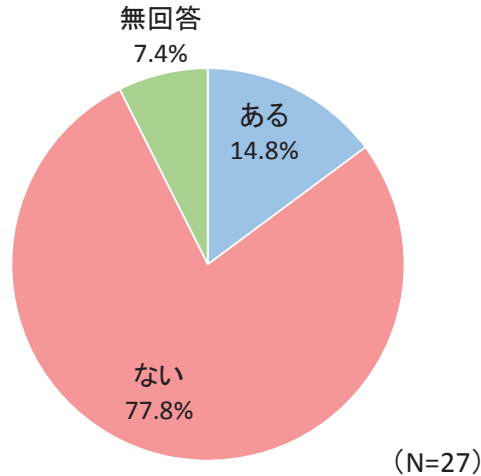


第V章 公共交通のニーズ調査

■乗合タクシー（デマンド運行）に対する評価

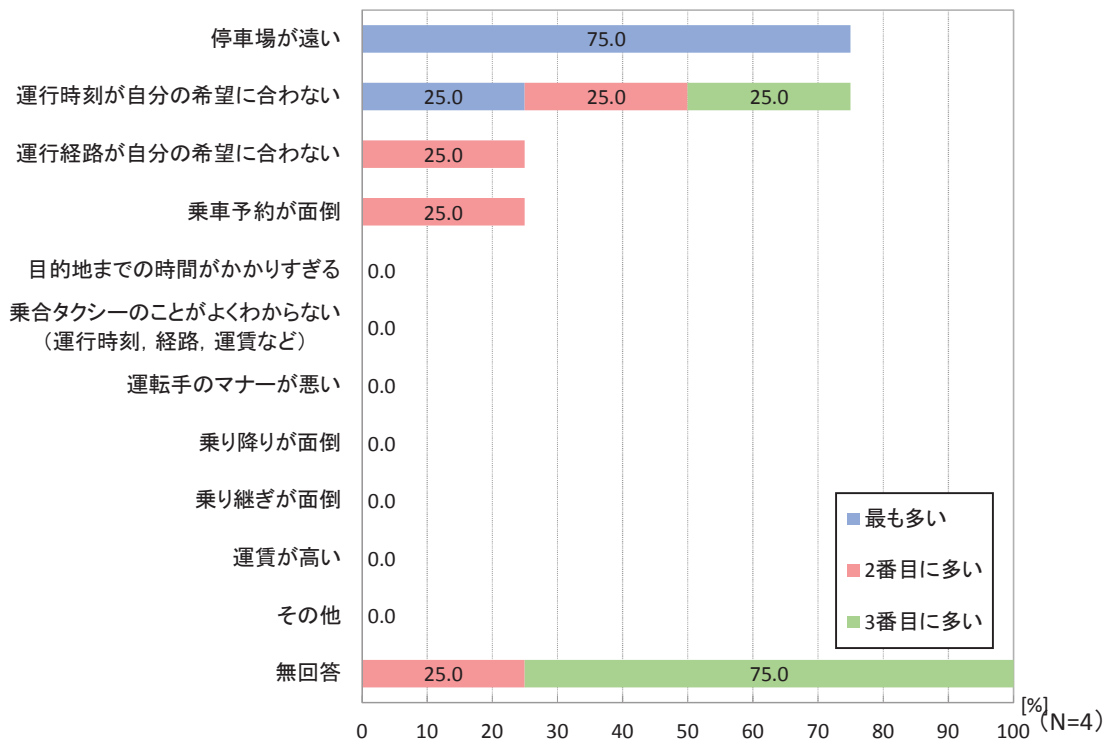
○乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満

乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満を耳にすることが「ある」が 14.8%、「ない」が 77.8%となっている。



○乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満の理由

乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満を耳にすることが「ある」とした回答者の理由として、「駐車場が遠い」、「運行時刻が自分の希望に合わない」が多くなっている。



■意見・要望 特記なし

第V章 公共交通のニーズ調査

(4) アンケート結果：薩摩地区

回答数：21 公民会（配布：27 公民会、回収率：77.8%）

<参考>

会員数：**1,783**名（全 27 公民館）

うち「自分で車を運転ができない方」**369**名（20.7%）

■公共交通(コミュニティバス・乗合タクシー)について

○さつま町内の公共交通として

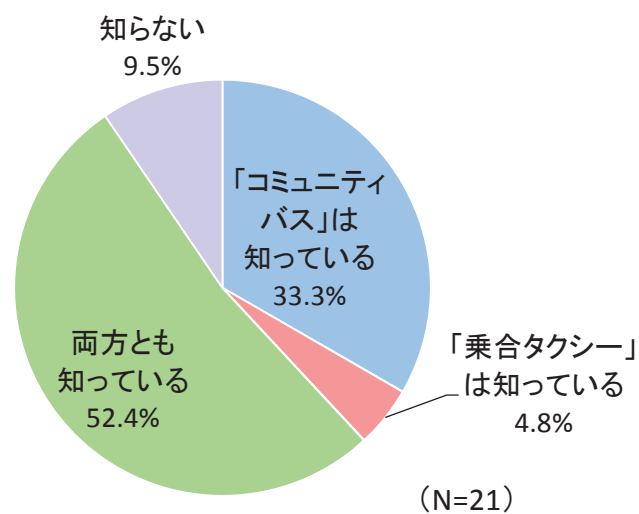
●コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）

4 路線：泊野線、山崎線、金山線、段・薬師線

●電話で予約する乗合タクシー ※デマンド運行

6 路線：神子線、鶴田線、上狩宿・熊田線、湯田・佐志線、登尾線、柊野・紫尾線

が、運行していることを知っているかに対し、「両方とも知っている」が 52.4%と最も多く、「コミュニティバスは知っている」が 33.3%、「乗合タクシーは知っている」が 4.8%となっている。また、「知らない」が 9.5%となっている。

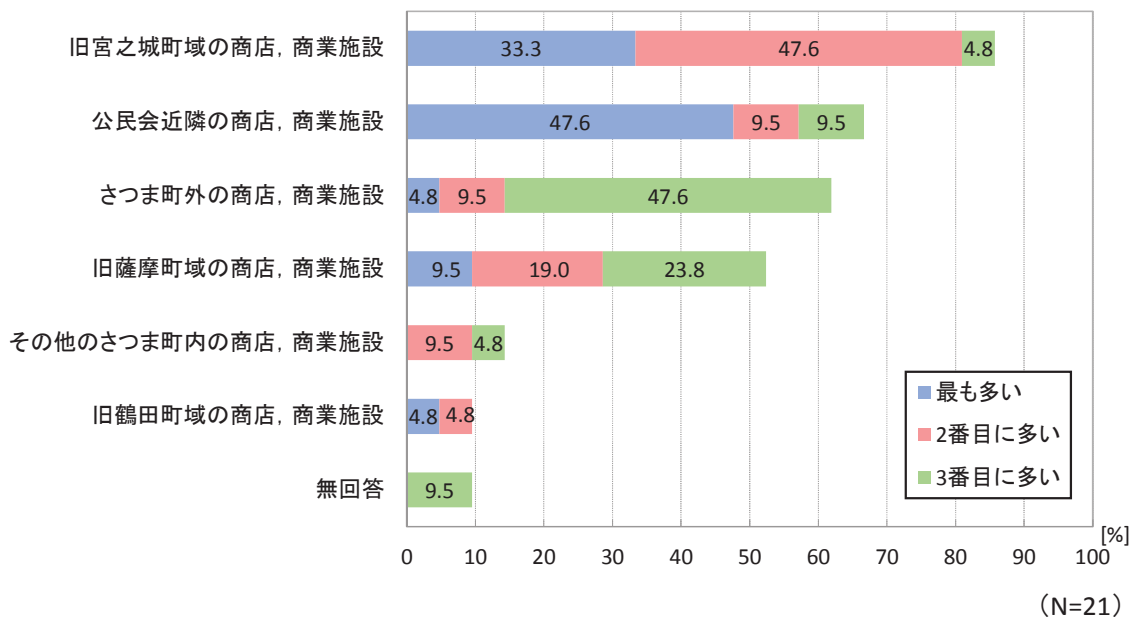


第V章 公共交通のニーズ調査

■買い物に関すること

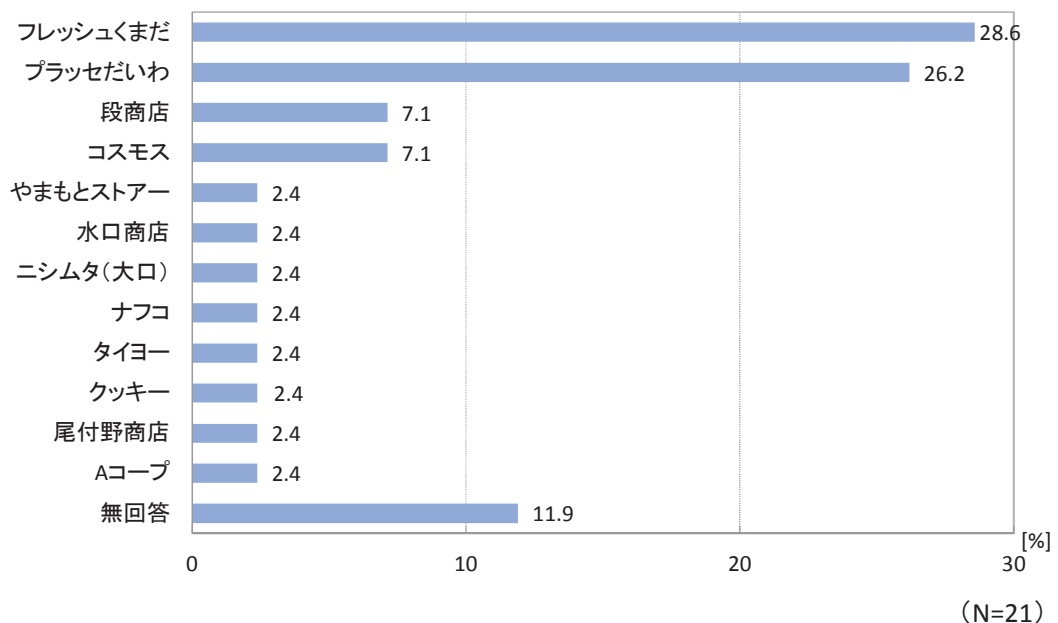
○買い物する場所

買い物に利用する商店、商業施設の場所は、「旧宮之城町域の商店、商業施設」が「最も多い」が33.3%、「2番目に多い」が47.6%、「3番目に多い」が4.8%と多くなっている。また、「旧薩摩町域の商店、商業施設」は、「最も多い」が9.5%、「2番目に多い」が19.0%、「3番目に多い」が23.8%となっている。



○利用している商業施設

買い物に利用する商店、商業施設は、「フレッシュくまだ」が最も多く28.6%、次いで「プラッセだいわ」が26.2%と多くなっている。

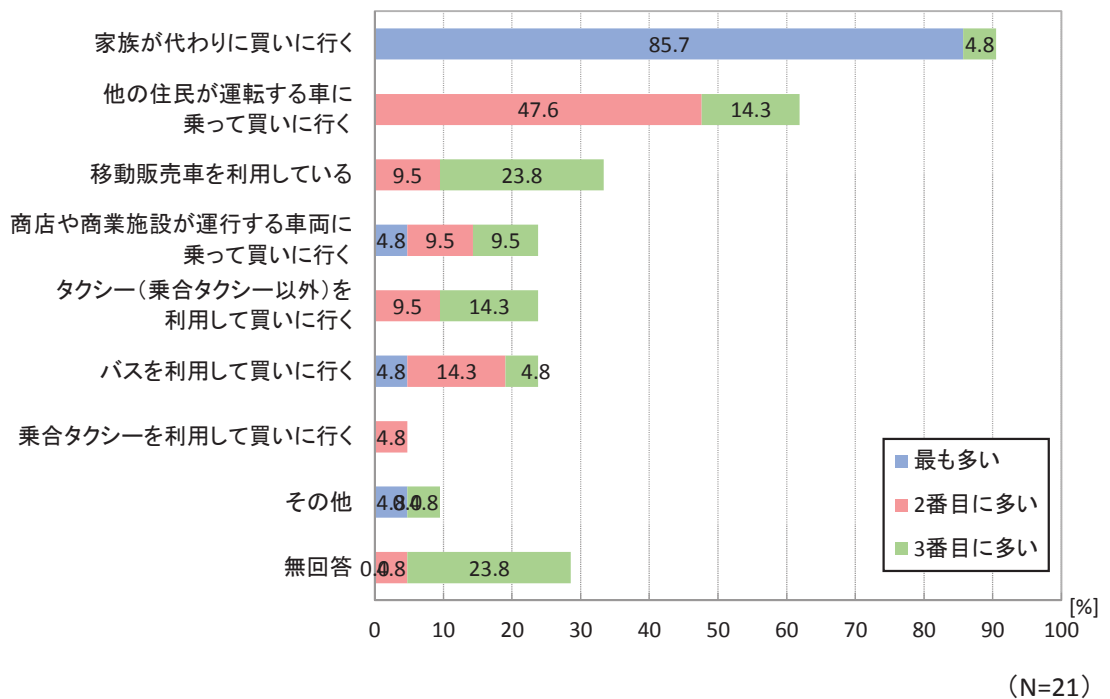


第V章 公共交通のニーズ調査

○（車を自分で運転できない方々の）買い物の際の移動手段

車を自分で運転できない方々の買い物の際の移動手段は、「家族が代わりに買いに行く」が「最も多い」が85.7%、「3番目に多い」が4.8%と多くなっている。次いで「他の住民が運転する車に乗って買いに行く」は、「2番目に多い」が47.6%、「3番目に多い」が14.3%と多くなっている。

また、「バスを利用して買いに行く」は全回答で23.9%、「乗合タクシーを利用して買いに行く」は全回答で4.8%に留まっている。

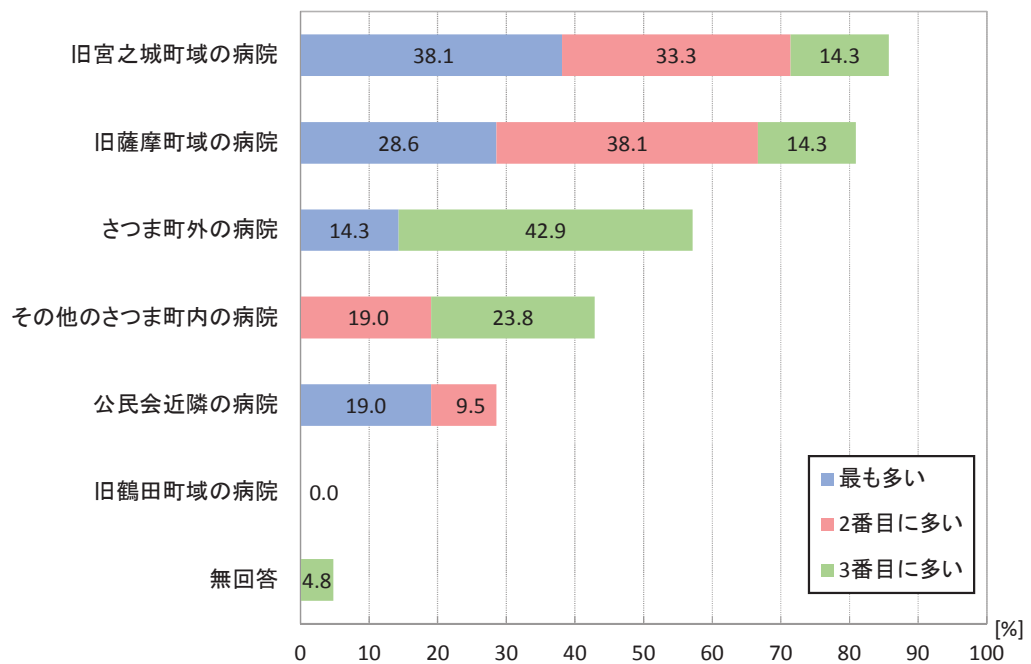


第V章 公共交通のニーズ調査

■通院に関すること

○通院する場所

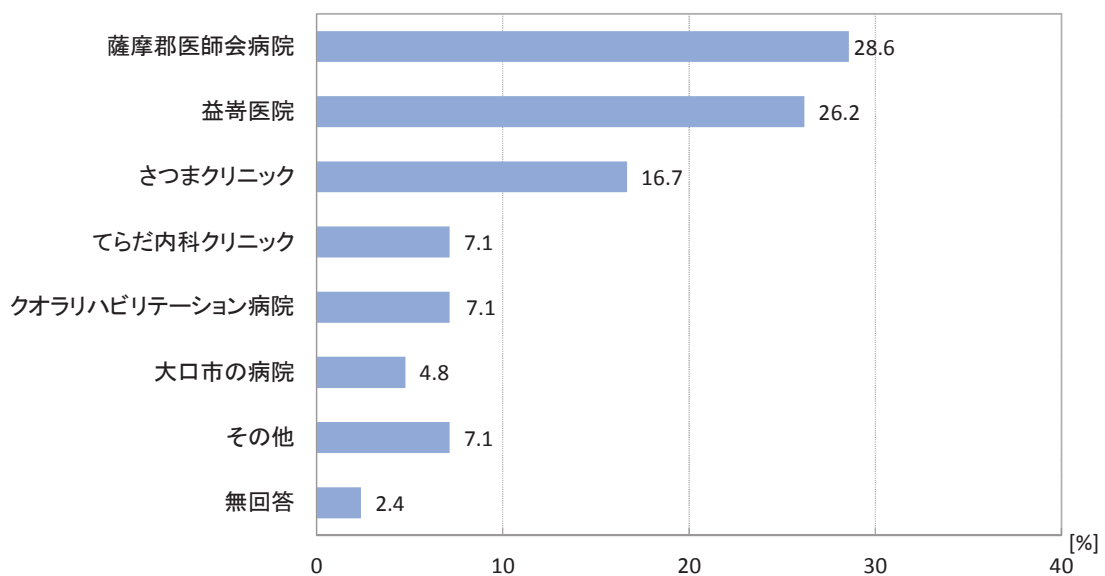
通院する場所については、「旧宮之城町域の病院」が「最も多い」が 38.1%、「2 番目に多い」が 33.3%、「3 番目に多い」が 14.3%と多くなっている。また、「旧薩摩町域の病院」は、「最も多い」が 28.6%、「2 番目に多い」が 38.1%、「3 番目に多い」が 14.3%となっている。



○通院している医療施設

(N=21)

通院している医療施設は、「薩摩郡医師会病院」が最も多く 28.6%となっている。次いで「益峯医院」が 26.2%、「さつまクリニック」が 16.7%と多くなっている。



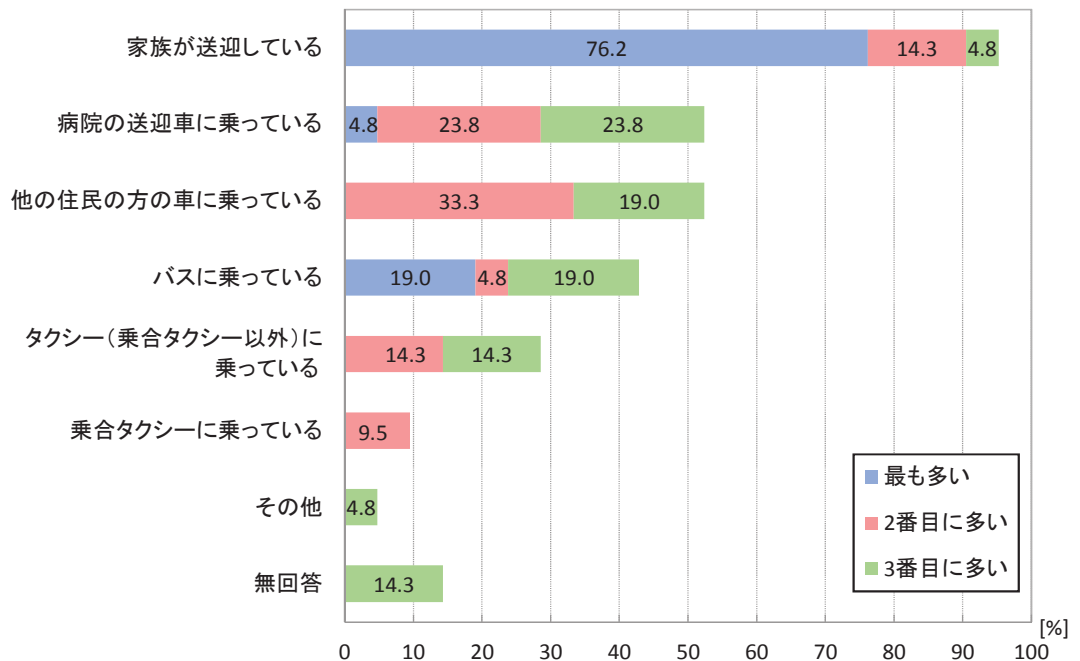
(N=21)

第V章 公共交通のニーズ調査

○（車を自分で運転できない方々の）通院の際の移動手段

車を自分で運転できない方々の通院の際の移動手段は、「家族が送迎している」が「最も多い」が76.2%、「2番目に多い」が14.3%、「3番目に多い」が4.8%と多くなっている。次いで、「病院の送迎車に乗っている」は、「最も多い」が4.8%、「2番目に多い」、「3番目に多い」がともに23.8%と多くなっている。

また、「バスに乗っている」は、全回答で42.8%、「乗合タクシーに乗っている」は全回答で9.5%に留まっている。



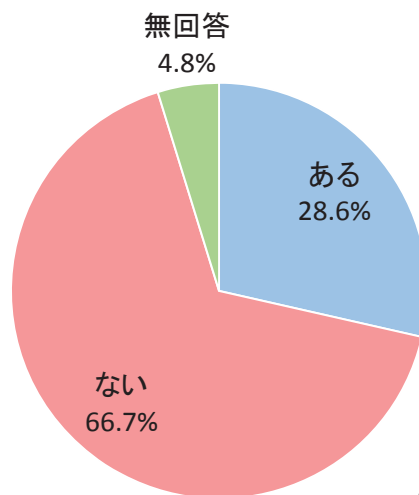
(N=21)

第V章 公共交通のニーズ調査

■コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する評価

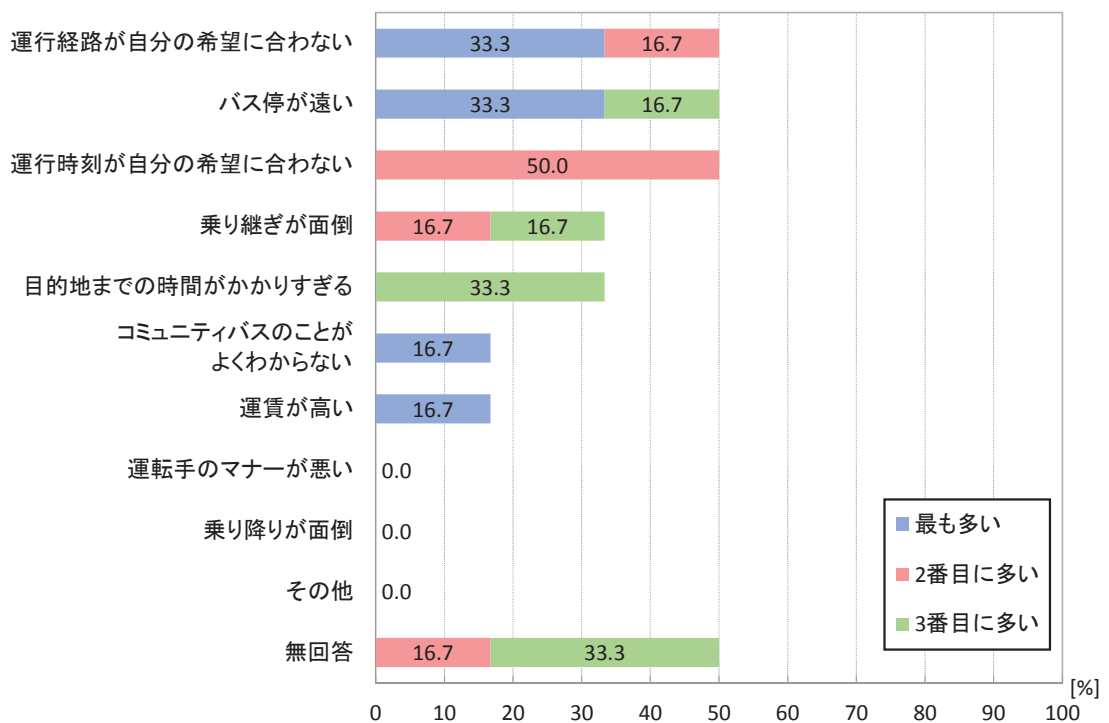
○コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する不満

コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する不満を耳にすることが「ある」が28.6%、「ない」が66.7%となっている。



○コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する不満の理由

コミュニティバス（または、定時定路線の乗合タクシー）に対する不満を耳にすることが「ある」とした回答者の理由として、「運行経路が自分の希望に合わない」、「バス停が遠い」、「運行時刻が自分の希望に合わない」が多くなっている。

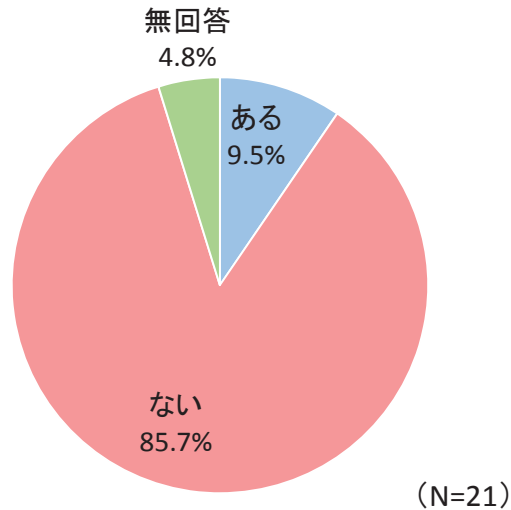


第V章 公共交通のニーズ調査

■乗合タクシー（デマンド運行）に対する評価

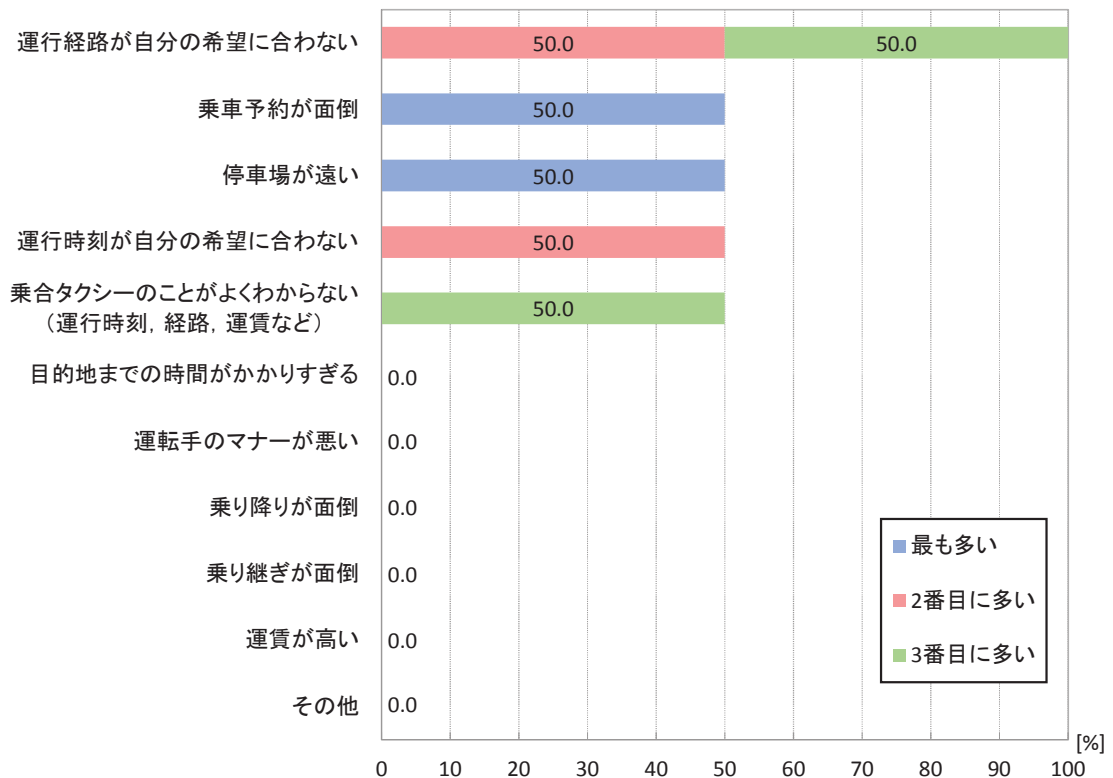
○乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満

乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満を耳にすることが「ある」が 9.5%、「ない」が 85.7%となっている。



○「乗合タクシー（デマンド運行）」に対する不満の理由

乗合タクシー（デマンド運行）に対する不満を耳にすることが「ある」とした回答者の理由として、「運行経路が自分の希望に合わない」、「乗車予約が面倒」、「停車場が遠い」、「運行時刻が希望に合わない」、「乗合タクシーのことがよくわからない」が回答されている。



第V章 公共交通のニーズ調査

■意見・要望

- ・ 地元の商店がなくなり、不便を感じているのは年配の方のようである。また、今後地元から病院もなくなるのではと不安を感じている。
- ・ 搦公民会の居宅は、国道267号線沿いに点々としているが、この国道267号には水名の町付近から伊佐市針持まで歩道がなく、歩行することや電動歩行機を使って国道を利用することができない。道路の脇には木の枝や草が生い茂り、車道を歩くとすぐそばを車が追い越し、とにかく危ない。歩道を早急に整備してほしい。
- ・ 私の公民会でもコミュニティバスを運行してもらっているが、ほとんど利用者がいない。無駄に感じている。距離的にも薩摩支所、求名と本所、宮之城と差がない。乗合いタクシーをお願いしたい。
- ・ 1日に何度も走る必要はないのではないか。
- ・ コミュニティバスは空車が目立つ。改善を検討すべきである。
- ・ 停車場まで2km以上あり、遠い。
- ・ コミュニティバスを利用しているところを見たことがない。これから利用が必要だと思う。